



青木小学校だより

青木小HP <http://www.aoki-aoki-ele.ed.jp/>

発行：青木村立青木小学校

発行日：令和3年5月28日

No. 159

みんなで交通ルールを守る ～5月の校長講話より～



この数字は何の数でしょうか？(72.4%)
 横断歩道で、車はどのくらい止まってくれるのかを、JAFという団体が毎年調査をしています。おととしの調査によると、長野県は72.4%で全国1位でした。2位の兵庫県は、57.1%です。長野県では、10回渡ろうとしたら8回は止まってもらえたこととなります。全国平均は21.3%。他の県では10回渡ろうとしたうち、2回くらいしか止まってもらえなかったこととなります。長野県は車が止まってくれる断トツ1位の県

なのです。
 実は「横断歩道を渡ろうとする人がいる場合、車は止まらなければいけない」という法律があります。だから、止まることは当たり前なのです。みなさんのお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、青木小学校の先生方も含めて、車の運転をする長野県の多くの人たちは、当たり前のことがしっかりとできているということです。

では、なぜ長野県が断トツ1位なのか。その理由を朝の情報番組である「めざましテレビ」が調べていました。その調査によると、『長野県の子どもたちは小学生の頃から止まってくれた車にあいさつするように指導されている、子どもたちの「ありがとうございます」のあいさつのように、渡る人が感謝の気持ちを伝えることが、車を運転する人の車を止めようとする意識を高めるきっかけになっているのかもしれない』との事でした。

そして、横断歩道で必ず止まるお父さん、お母さんの車に乗っていれば、その子も大人になって車を運転した時に、当たり前のこととして横断歩道で止まるようになると言われていています。こうした習慣が断トツ1位の理由なのですね。

このことを知って校長先生はこれからも横断歩道では必ず止まるようにしたいと思いましたし、自分が横断歩道を渡る時には、止まってくれた車に頭を下げてあいさつをする事も続けたいと思いました。

みなさんも、これからもぜひ、横断歩道で止まってくれた車には、「ありがとう」の気持ちを伝えて下さい。でも、渡るのはくれぐれも車が止まってくれて、渡り終わってからですよ。そして、もう一つ付け加えると、渡りたいときは手を上げるとより確実に車は止まってくれるそうです。車を運転する校長先生もそう思います。

あいさつは人をにっこりさせ、幸せな気持ちになる効果が抜群ですね。みなさん、これからも、止まってくれた運転手さんに限らず、誰にでも自分からあいさつをしていきましょうね。

4月に保護者の皆様に登校時の街頭指導をしていただいたり、交通安全教室を開いたりしたことで、子どもたちの交通ルールを守る意識が高まりました。

命は一つしかありません。自分の命は自分で守る方法を身につけるとともに、大人が見本を示さなければいけないと思います。



春の遠足

4月30日、天候に恵まれ、各学年で遠足を実施しました。青木村の美しい景色の中で仲間と共に食べたお弁当はとてもおいしかったです。



1学年 大法寺



2学年 リフレッシュパーク



3学年 昆虫資料館



4学年 十観山



5学年 夫神岳



6学年 夫神岳

日曜参観日・引き渡し訓練

5月16日(日)には『三密』を防ぐために三つに地区割りをして授業参観を行いました。授業後は災害時に備えて引き渡し訓練を行いました。保護者の皆様



のおかげでスムーズに訓練を行うことができました。『備えあれば憂いなし』

読み聞かせボランティア

地域のボランティアの方に来ていただき、絵本の読み聞かせをしていただいています。

感情を込めたり、声音に変化をつけたり様々な工夫をしていただけるため、絵本の世界に引き込まれてしまいます。子どもたちにとって楽しい一時になっています。



【6月の予定】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 2日(水) 歯科指導(1, 5学年) | 18日(金) 音楽会 |
| 4日(金) 歯科健診(低学年) | 22日(火) 教育相談週間(～7/2) |
| 7日(月) 児童会 | プール開き |
| 8日(火) 防犯教室 | フッ素塗布 |
| 10日(木) 耳鼻咽喉科検診 | 25日(金) 社会科見学(4学年) |
| 12日(土) PTA作業 | 情報モラル授業(5, 6学年) |
| 13日(日) PTA作業予備日 | 28日(月) 児童会 |